

学 習 指 導 案

岩手県立宮古工業高等学校

- 1 授業者氏名 北 田 昌 志
- 2 日 時 平成24年10月17日(水) 4・5・6校時
- 3 対象学級 電気電子科1年 22名(男子22名) 2班7名
- 4 場 所 電気電子科工作実習室
- 5 科目・単元 工業技術基礎 「電力調節器の製作」
- 6 使用教科書 電力調節器の製作プリント
- 7 本時の位置 電力調節器の製作(15時間配当)の 13~15時間目
- 8 指導目標 (1) 製作にあたり丁寧さ、かつ製作時間の重要性について理解させる。
(2) 製造物責任法(P.L法)をふまえて出荷基準の重要性について理解させる。
- 9 前提条件 工具などについて使用方法を理解していること。
- 10 本時の指導計画

段 階	学 習 内 容	学 習 活 動	指導上の留意点	評価の観点と評価方法
導入 10分	本時の目標説明 電力調節器を完成させる。	作業内容の確認をする。	本時の作業内容を理解させる。	[関心・意欲・態度]
展開 120分	製造物責任法をふまえて線引き問題について考える。 電力調節器の仕上げ(完成) ①ヒューズホルダーを取り付ける。 ②コンセントコードの被覆をワイヤーストリッパーで取りケースのコンセント、ヒューズホルダーにはんだ付けする。 ③反対側のコンセントコードの被覆を取り加工後、コンセントにコードを取り付ける。 ④ボリューム抵抗を上ケースに取り付ける。 ⑤上ケース、下ケースを組み立て、タッピングネジで締める。 ⑥ヒューズを入れる。 ⑦電力調節器の動作確認をする。	製造物責任法をふまえて、線引き問題を考える。 ①ヒューズホルダーを取り付ける。 ②コンセントコードをケースのコンセント、ヒューズホルダーにはんだ付けする。 ③コンセントコードの被覆を取りコンセントに取り付ける。 ④向きに注意し取り付け。 ⑤ケースを組み立てる。 ⑥ヒューズを入れる。 ⑦電球を使い動作確認を行なう。	出荷基準を考えさせる。 ヒューズホルダーの取り付け方を説明する。 机間巡視。 コンセントコードに結び目を作り、ケースのコード穴を通す。 コードの加工の仕方について説明し理解させる。 ボリューム抵抗の付け方を説明し理解させる。 ヒューズを入れる意味を考えさせ説明する。	・専門分野への興味、関心 ・授業参加への積極性や意欲 ・作業および学習への態度 [思考・判断・表現] 製作過程についての思考 ・適切に判断し報告 [技能] 技術の活用 [知識・理解] ・加工方法の理解 ・方法 「プリントの記入状況」、「実習報告書の点検」による。
まとめ 20分	①本時のまとめ 出荷する場合の出荷基準の重要性を考える。 実習報告書の作成	①出荷する場合の出荷基準を考える。	出荷基準の確認。	

